

令和4年度

学校評価アンケート結果



令和5年2月3日

東京都立板橋有徳高等学校

定時制課程

学校運営連絡協議会

# 目 次

- 1 アンケート対象及び実施方法
- 2 アンケート回収数、回収率
- 3 アンケート集計結果による学校満足度
- 4 アンケート内容 生徒用 集計グラフ
- 5 アンケート内容 保護者用 集計グラフ
- 6 アンケート内容 教職員用 集計グラフ
- 7 アンケート内容 地域用 集計グラフ
- 8 成果と課題

## 1 アンケート対象及び実施方法

生徒：令和4年12月1日現在の在籍生徒に Forms で実施

1年次8名、2年次15名、3年次18名、4年次10名、合計51名

保護者：令和4年12月1日現在の在籍生徒の保護者に生徒を經由して配布

生徒1名につき1枚

教員：令和4年12月1日現在定時制課程に在籍する主任教諭、教諭及び養護教諭に Forms で実施

合計9名

地域：徳丸地域センターを經由して町会・自治会に配布

15町会・自治会に各5枚 合計75枚

## 2 アンケート回収数、回収率

	本年度 (回収率)	令和3年度 (回収率)	令和2年度 (回収率)	平成31年度 (回収率)
生徒	36 (70.6%)	54 (85.0%)	52 (82.5%)	61 (88.4%)
保護者	28 (54.9%)	42 (66.7%)	25 (39.7%)	40 (57.9%)
教員	9 (100%)	9 (100%)	9 (100%)	9 (100%)
地域	43 (57.3%)	10 (50.0%)	15 (100%)	25 (55.5%)

## 2 アンケート集計結果による学校満足度

学校に対する満足度

- ・生徒用アンケート Q20：本校に入学してよかったと思う。
- ・保護者用アンケート Q20：保護者として子供を本校に入学させてよかったと思う。
- ・地域用アンケート Q10：本校定時制課程への入学を薦めることができますか。

以上の3問の肯定的な回答A及びBの割合で満足度とすることとした。

(A：はい、そう思う。 B：どちらかといえばそう思う。)

集計結果

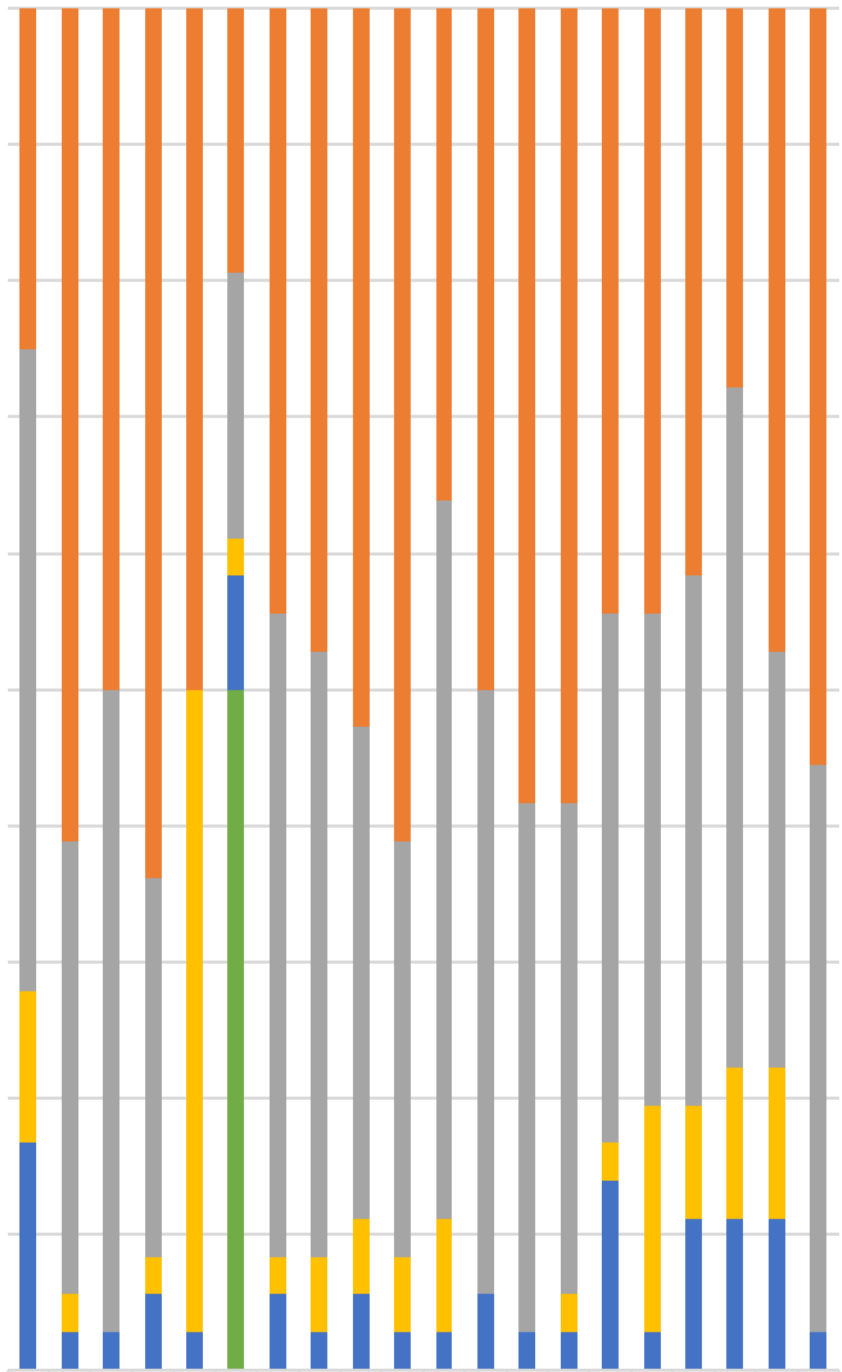
- ・生徒用アンケート Q20： 97.2% (昨年 88.6%)
- ・保護者用アンケート Q20： 100% (昨年 95.2%)
- ・地域用アンケート Q10： 39.4% (「わからない」を除くと100%) (昨年 80.0%)

#### 4 アンケート内容 生徒用

- 1 本校の教育目標や指導方針を知っている。
- 2 本校の単位修得や卒業の決まりを理解している。
- 3 先生は教材や教え方を工夫して生徒が意欲的に学習に取り組めるようにしていると思う。
- 4 本校の少人数展開授業は効果的だと思う。
- 5 本校の生活は自分の将来に役に立つと思う。
- 6 本校の給食は満足できる内容だと思う。
- 7 本校に気軽に話したり相談したりできる先生がいる。
- 8 本校は生徒の個性や課題を尊重して指導していると思う。
- 9 本校の生活の決まりについて理解している。
- 10 本校の規則は適切だと思う。
- 11 本校はいじめ防止に積極的に取り組んでいると思う。
- 12 ルールやマナーを守り挨拶をしている。
- 13 本校は進路について考える機会を多く提供していると思う。
- 14 本校は学校行事（遠足、球技大会、文化祭）が充実していると思う。
- 15 本校の部活動は活発だと思う。
- 16 本校の生徒会活動は活発だと思う。
- 17 本校の教室や設備などは充実していると思う。
- 18 本校は働き方改革に取り組んでいることを知っている。
- 19 本校に通うのが楽しく、充実している。
- 20 本校に入学してよかったと思う。

- A はい、そう思う（肯定）  
B どちらかと言えば、そう思う（やや肯定）  
C どちらかと言えば、そう思わない（やや否定）  
D いいえ、そう思わない（否定）  
N 給食を食べていない。

令和4年度学校評価アンケート（生徒）

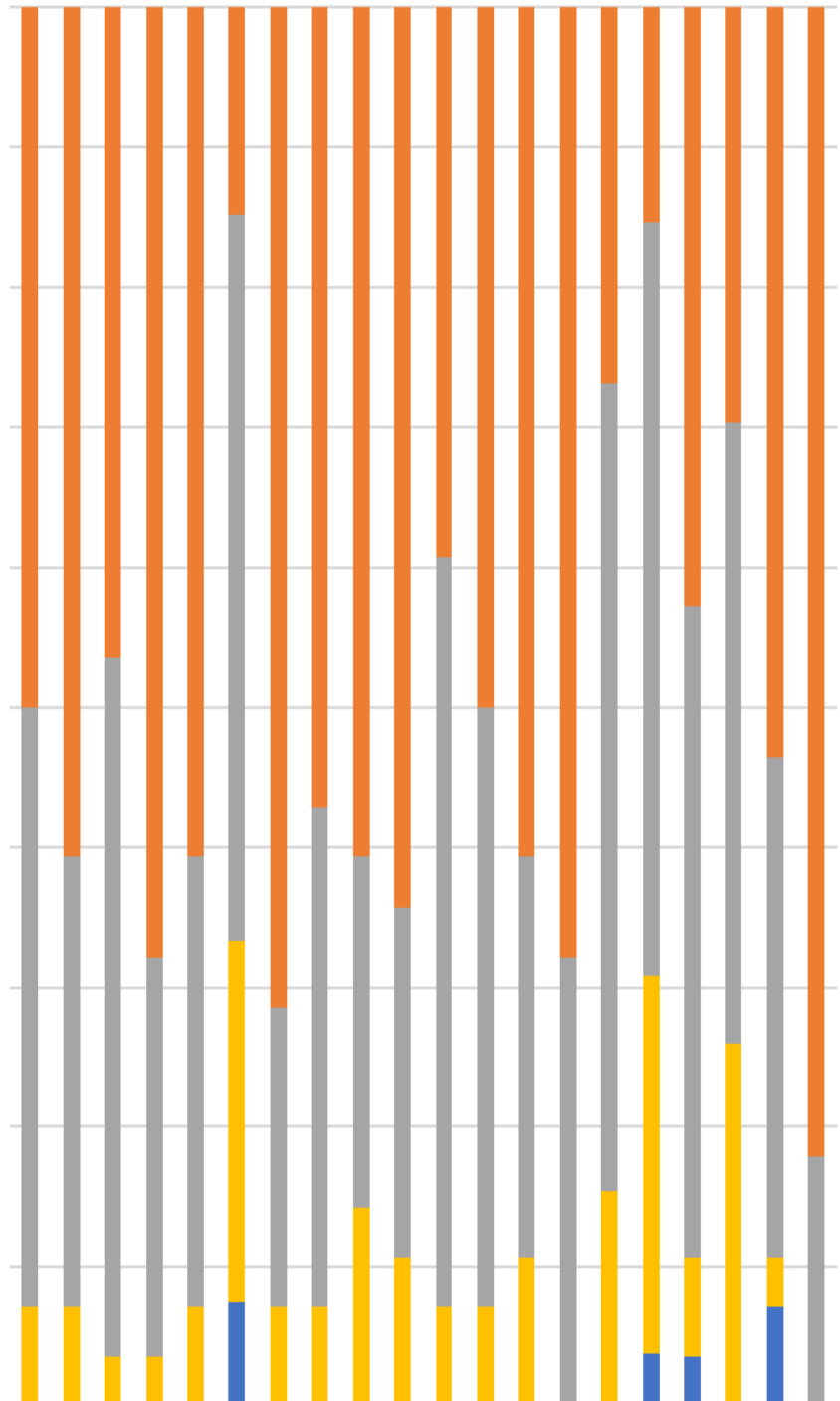


	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
■ はい、そう思う	9	22	18	23	18	7	16	17	19	22	13	18	21	21	16	16	15	10	17	20
■ どちらかと言えば、そう思う	17	12	17	10	17	7	17	16	13	11	19	16	14	13	14	13	14	18	11	15
■ どちらかと言えば、そう思わない	4	1	0	1	0	1	1	2	2	2	3	0	0	1	1	6	3	4	4	0
■ いいえ、そう思わない	6	1	1	2	1	3	2	1	2	1	1	2	1	1	5	1	4	4	4	1
■ 給食を食べていない	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 5 アンケート内容 保護者用

- 1 本校の教育目標や指導方針を理解している。
  - 2 本校の単位修得や卒業の決まりを理解している。
  - 3 本校では子供の興味・関心に応じた授業が行われていると思う。
  - 4 本校の少人数展開授業は効果的だと思う。
  - 5 本校での生活は子供の将来に役に立つと思う。
  - 6 本校の給食に子供は満足していると思う。
  - 7 本校に子供が気軽に話したり相談したりできる先生がいる。
  - 8 本校は子供の個性や課題を尊重して指導していると思う。
  - 9 本校の生活の決まりを保護者として理解し、家庭で子供と話をしている。
  - 10 本校の規則は適切だと思う。
  - 11 本校はいじめ防止に積極的に取り組んでいると思う。
  - 12 本校の生徒はルールやマナーを守り挨拶をしていると思う。
  - 13 本校は進路について考える機会を多く提供していると思う。
  - 14 本校は学校行事（遠足、球技大会、文化祭）が充実していると思う。
  - 15 本校の部活動は活発だと思う。
  - 16 本校のPTA活動は活発だと思う。
  - 17 本校の教室や設備などは整備されていると思う。
  - 18 本校の教職員が働き方改革に取り組み、ライフ・ワーク・バランスを推進していることを知っている。
  - 19 お子さんは、学校に行くのが楽しい。
  - 20 保護者として子供を本校に入学させてよかったと思う。
- 
- A はい、そう思う（肯定）
  - B どちらかと言えば、そう思う（やや肯定）
  - C どちらかと言えば、そう思わない（やや否定）
  - D いいえ、そう思わない（否定）

令和4年度学校評価アンケート（保護者）



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
■ はい、そう思う	14	17	13	19	17	4	20	16	17	18	11	14	17	19	7	4	12	8	15	23
■ どちらかと言えば、そう思う	12	9	14	8	9	14	6	10	7	7	15	12	8	9	15	14	13	12	10	5
■ どちらかと言えば、そう思わない	2	2	1	1	2	7	2	2	4	3	2	2	3	0	4	7	2	7	1	0
■ いいえ、そう思わない	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0

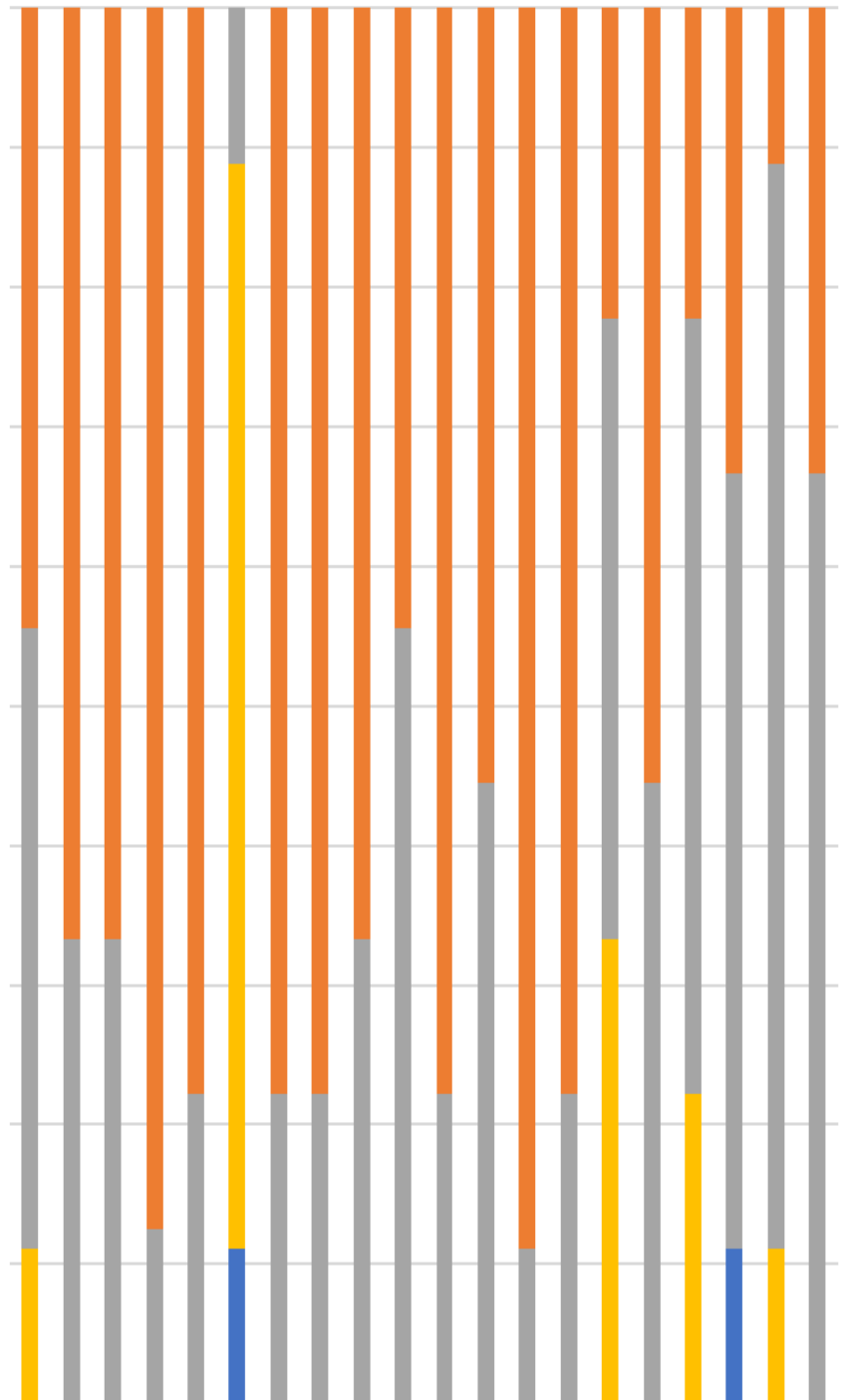
## 6 アンケート内容 教職員用

- 1 本校の教育目標や指導方針を生徒・保護者に周知するようにしている。
- 2 生徒に単位修得や卒業の決まりについて十分理解させている。
- 3 あなたは、生徒の意欲を引き出すよう授業の内容や教材、教え方に様々な工夫をしている。
- 4 少人数展開授業は効果的だと思う。
- 5 本校での教育活動は生徒の将来に有益であると思う。
- 6 生徒は本校の給食の内容に満足していると思う。
- 7 生徒と積極的にコミュニケーションをとっている。
- 8 生徒の個性や課題を尊重して指導している。
- 9 生徒は学校の生活指導について納得していると思う。
- 10 本校の生活指導方針を生徒・保護者に明確に示している。
- 11 本校はいじめ防止に積極的に取り組んでいると思う。
- 12 基本的な生活習慣を定着させる指導に日々努めている。
- 13 生徒の進路希望実現のための指導を行っている。
- 14 生徒は学校行事（遠足、球技大会、文化祭等）を通して成長できていると思う。
- 15 本校の生徒は部活動を活発に行っていると思う。
- 16 本校の生徒会活動は活発であると思う。
- 17 本校の教室や設備などは整備されていると思う。
- 18 計画的な校務の進め方により、効率化を図るなど、ライフ・ワーク・バランスの実現を図っていると思う。
- 19 本校の生徒は生き生きと学校に通っていると思う。
- 20 生徒は本校に入学して満足していると思う。

- A はい、そう思う（肯定）
- B どちらかと言えば、そう思う（やや肯定）
- C どちらかと言えば、そう思わない（やや否定）
- D いいえ、そう思わない（否定）



令和4年度学校評価アンケート（教員）



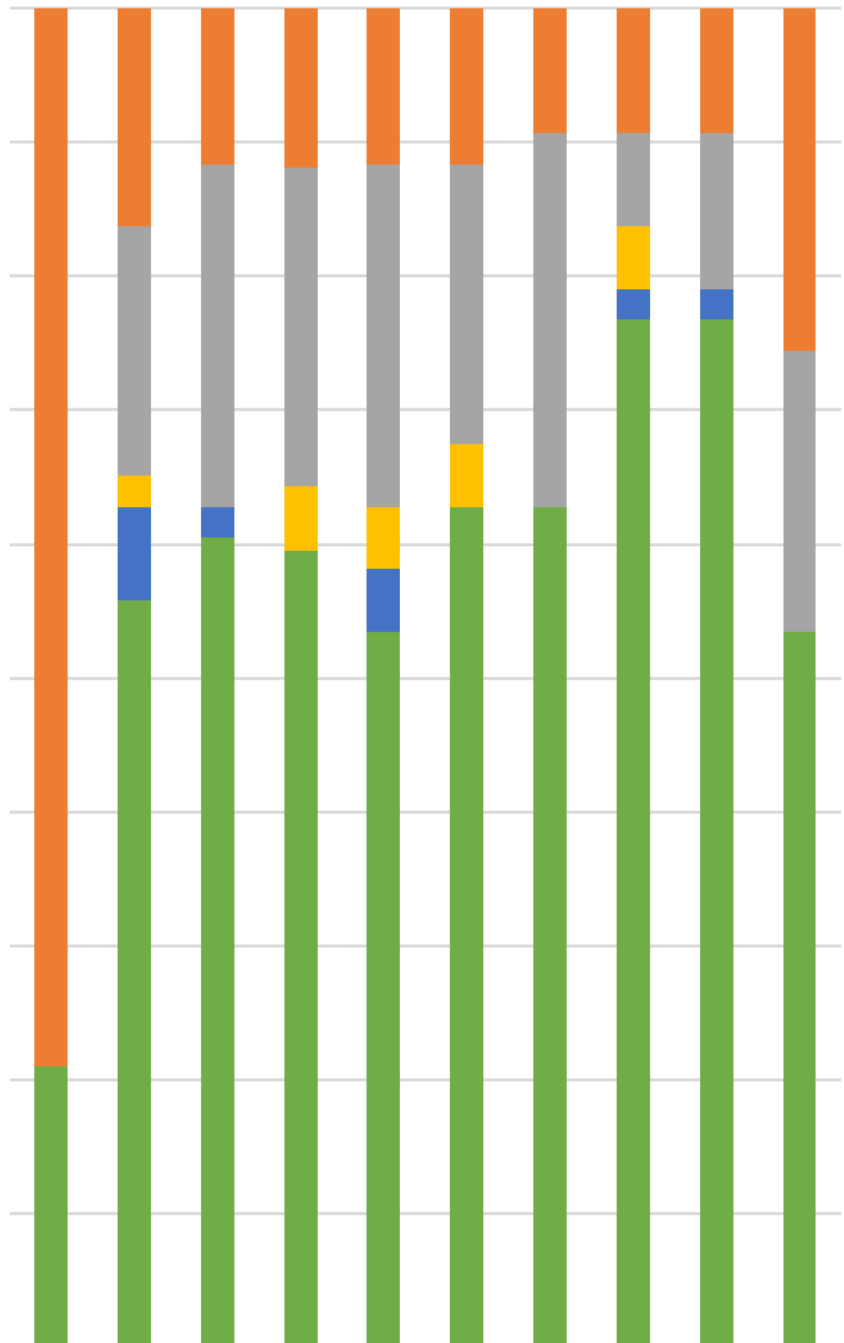
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
■ はい、そう思う	4	6	6	7	7	0	7	7	6	4	7	5	8	7	2	5	2	3	1	3
■ どちらかと言えば、そう思う	4	3	3	1	2	1	2	2	3	5	2	4	1	2	4	4	5	5	7	6
■ どちらかと言えば、そう思わない	1	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	1	0
■ いいえ、そう思わない	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

## 7 アンケート内容 地域用

- 1 板橋有徳高等学校に夜間定時制課程があることを知っている。
- 2 板橋有徳高等学校は生活規律に厳しい学校だと思う。
- 3 板橋有徳高等学校は地域に開かれた学校だと思う。
- 4 教職員は熱心に学習指導・生徒指導に取り組んでいると思う。
- 5 板橋有徳高等学校は地域美化活動をしていると思う。
- 6 板橋有徳高等学校定時制は、教職員が働き方改革に取り組み、ライフ・ワーク・バランスを推進していると思いますか。
- 7 生徒の礼儀等、良いと思う。
- 8 生徒は交通ルールを守っていると思う。
- 9 生徒は路上にゴミを捨てないなどの社会のマナーを身に付けていると思う。
- 10 板橋有徳高等学校定時制課程への入学を薦めることができる。

- A はい、そう思う（肯定）
- B どちらかと言えば、そう思う（やや肯定）
- C どちらかと言えば、そう思わない（やや否定）
- D いいえ、そう思わない（否定）
- N わからない、判断できない

令和4年度学校評価アンケート（地域）



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
■ はい、そう思う	34	7	5	5	5	5	4	4	4	11
■ どちらかと言えば、そう思う	0	8	11	10	11	9	12	3	5	9
■ どちらかと言えば、そう思わない	0	1	0	2	2	2	0	2	0	0
■ いいえ、そう思わない	0	3	1	0	2	0	0	1	1	0
■ わからない、判断できない	9	24	26	25	23	27	27	33	33	23

## 8 成果と課題

- ・本校では小規模の落ち着いた校風を生かし、生徒がのびのびと力を発揮できる学習環境づくりに努めている。また、少人数多展開授業・習熟度別クラス編成授業が生徒のニーズに合致し、教員側も小規模校の利点を生かし、生徒一人一人の個性に応じたきめ細かな指導に努めてきた。生徒用アンケートにおいて、学校に対する満足度が昨年比べて上昇している。特に授業満足度が高い理由は「基礎基本の確実な定着を目指す。各教科・科目の既習事項を丁寧に反復して学習させ、必要に応じて個別指導を実施する等して、学力の定着を図る。」というカリキュラムポリシーのもとで授業改善を継続した成果であると考察する。
- ・今年度はコロナ禍の中、感染症対策を万全にした上で学校行事をできる限り行った。特に、3年ぶりの実施となった修学旅行においては、生徒の変容が顕著にみられ生徒自身の在り方生き方について深く考えるきっかけとなり、多くの教育成果を得ることができた。また、文化祭や生徒会を中心とした行事の開催など、生徒が主体となって学校生活を充実させることができた。これらの取り組みが学校満足度に反映されていると考察する。
- ・地域との交流ではコロナ禍ではあったが、志村消防団と連携した防火・防災パトロールを実施した。生徒は順番に拍子木を打ち、「火の用心」と声を出して、学校周辺の町内を1時間程度巡回した。その結果、今回地域用アンケートの質問10「板橋有徳高等学校定時制課程への入学を薦めることができる。」項目の肯定的な意見が100%（わからないを除く）となった。しかし、青少年健全育成徳丸地区委員会と連携した夜間パトロールの参加や、学校周辺の清掃活動を行うことができなかったため、今後の再開を含め計画する必要がある。
- ・地域にお願いした学校評価アンケートの回収率は57.3%であった。今年度は徳丸地域センターに所属している町会・自治会の全でアンケートを実施した。徳丸地域センターの御尽力により回収率、回答数ともに昨年度を大幅に上回り、多くの意見を得ることができた。しかしながら、本校定時制の存在は知っているが、本校で行われていることに関しては「わからない」という回答がほとんどであった。本校の教育に関心を示してくださっている方はおおむね良好な評価であった。広報活動の活性化が課題である。
- ・「有徳だより」は今年度、近隣地域に配布した。また、昨年度に引き続いてHPにも掲載した。教育活動中の写真や取り組んだ内容等を掲載し、本校の教育活動を対外的に広く理解していただく一助になったと考察する。
- ・進路決定率や出席率の高さ、落ち着いた学習環境が本校の教育活動を支える根幹である。今後も全教職員が一丸になって、保護者・地域に信頼され「多様な価値観を認め、自他を尊重しながら進んで社会に貢献することができる生徒を育成する」というスクールミッションに取り組むことが不可欠である。